

1 1月全校朝会講話

「地域に生きる」

おはようございます。10月28日の合唱コンクール、本当に素晴らしい歌声が体育館一杯に響き、大成功に終わりましたね。学年が上がるにしたがって完成度が上がり、特に3年生の歌はどのクラスも聞いていて鳥肌が立ちました。感動をありがとうございました。月が替わって11月、生徒会によるいじめ撲滅キャンペーンとしてオレンジリボン運動が始まりました。今、みなさんの多くがつけているオレンジのリボンはみなさん自身の「いじめはしない、許さない」という決意の表れです。大切にしてください。

さて明後日、11月12日は朝霞一中の開校記念日です。昨年70周年を迎え、今年は新たな一步を踏み出しました。記念すべき日を控えて今日は「地域に生きる」という話をします。

みなさんは朝霞一中の生徒ですが、どうやってそうなったのでしょうか。今、3年生が実際に行っているように見学会や資料を基に自分で選んで入学試験を受けて入学してきましたか？そうではないですね。

みなさんが今、朝霞一中生でいるのは、みなさんがこの地域に生まれ、育って、ここに住んでいるからです。中にはこの学校の校区に住んでいなくて自由選択制で一中を選んだ人もいますが、少なくとも朝霞に住んでいるからこの学校に通ってきているのです。当たり前と言えば当たり前ですが、みなさんも地域の一員であるわけです。人はいろいろな集団に所属しています。みなさんはそれぞれの家族の一員であり、今言ったように地域の一員であり、朝霞一中の生徒であり、今所属しているクラスや学年の一員であり、部活動の部員であり、というようにいろいろな人とのかかわりで生きています。でもちょっと考えてください。普段、家族や学校での自分は意識する機会がたくさんあっても、地域の一員としての自分については意識していない人が多いのではないですか。

みなさんがこの一中に通うのはたったの3年間、地域の一員として過ごすのはその何倍もの時間です。今、地域での人間関係が希薄になっているとよく言われます。その証拠に学校にはときどき、地域の方からお叱りの電話や申し出が入ります。登下校で広がって歩いていて危ないとかたまっておしゃべりをしていてとか、個人の敷地を通っているとか・・・コンビニで食べかすやゴミを放置したまま帰ったとか 学校ではちゃんと指導しているのかという訳です。こういった苦情を学校に訴えてくる人は、地域の誰誰さんの家の何とか君とか何とかさんではなく、みなさんをまとめて一中生として見ているのです。簡単に言えばみなさんは一中生という看板を背負って歩いているようなものです。でも私は、それはおかしいと思っています。何でも学校のせいにならず、もっと地域の人みんなで声を掛け合えようといいたいのです。

そしてみなさんにも言いたい。地域に生きる一人として恥ずかしくない行動をとってください。一中生だからではなく、地域に住む一人の人間として当たり前前のマナーや気遣いができるようになってください。

月曜日にはクリーン大作戦があります。みなさんが地域に出て行って街をきれいにしてくる、地域の一員として貢献できるチャンスです。地域で生きる自分をぜひ意識してみてください。

終わります。